

町民の声内容【7月26日】

【タイトル】

新型コロナワクチン接種 2回目接種の予約に関する個人情報の扱いについて

【コメント】

私は、新型コロナワクチン接種 第1回予約をインターネット上で行いました。

そして、第1回目の接種を受けることができました。

接種に関するご準備をいただいた町職員の皆様にお礼申し上げます。

一方、第2回目の接種を予約するにあたっては、八頭町行政の個人情報の扱いが適切ではないと考えることができました。

第1回目の接種においては、接種を終え、15分間の経過観察を行います。

そして接種終了直後に、同会場内にて、第2回目接種の予約をする、という流れになっていました。携帯電話を所有している者は、会場内にて係員の支援を受けながら、携帯電話を使って予約を行うというものでした。私は、携帯電話を使っていない者です。

第1回目接種の予約は、パソコンを使ってインターネットによる予約をしました。

したがって第2回目接種の予約手続きを会場内で、私は自力で行うことができません。

接種会場内に設置された場所で、オペレーターさんに、クーポン券などの資料をお渡しし、第2回目接種のネット予約が行われたようです。

私のために、行政が、サービスをしてくださっているのだということは理解できました。

しかし、私のメールアドレスを教えてもないオペレーターさんが、私のメールアドレスを入力できたのはなぜなのだろう、という疑問が起きます。

接種会場でオペレーターさんが、私にメールアドレスを尋ねる場面はありませんでした。

ということは、私のメールアドレスは、ネットサーバー上に記録されていて、第三者に読み込まれる状態になっているということになります。そこからメールアドレスを読み取ってオペレーターさんは、入力したと考えます。

第1回接種後、帰宅してパソコンを開いてみると、covid19-vaccine@mrso.jp から私にメールが入っていました。これは、オペレーターさんが私のメールアドレスを入力したことによって予約完了を知らせるメールが入ってきたということです。

私自身がオペレーターさんにメールアドレスを伝えていないにもかかわらずです。

町行政が、住民にワクチン接種を進めていかなければならないことは理解しています。理解するだけでなく協力もします。

ですが、町行政が依頼したオペレーター、または町職員が、接種希望者本人の了解なしに、メールアドレスを扱っていたことは、町行政として大きな誤りであると考えます。

待機している私に対して、オペレーターさんが、「第2回目接種の予約手続きに必要なので、メールアドレスを教えてください」などと尋ね、メールアドレスの入力について了解・承認を求めたのならば、私は、快く、承諾します。

また煩雑になるけれども、自力で第2回目接種の予約をしなければならないのならば、自力で行います。

このとおり、ワクチン接種に関するメールアドレスの扱い方について、意見申し上げます。回答願います。